

令和7年度スキルアップクラス戯曲づくり講座のご案内

各中学校演劇部顧問教諭 様

演劇部員の皆様

県では、舞台芸術に取り組む中学生のために毎年演劇講習会、演劇発表会及び「神奈川県中学校創作劇発表会」を実施しています。この創作劇発表会の「生徒創作」、その中でも戯曲づくりの手助けとなるよう、中学生対象の戯曲づくり講座に第一線で活躍する劇作家を講師に迎え、個性豊かな物語を一から作り上げる基礎を習得することを目的に「中学生のためのワクワク戯曲づくり塾 ～君だけの物語を舞台に！～」を開催します。この講座では、最終的に10分から15分の小作品を書き上げるところまでを目指します。

1 タイトル

「中学生のためのワクワク戯曲づくり塾 ～君だけの物語を舞台に！～」

2 内容

(1) 講師 矢内原美邦 近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻教授 振付家・演出家・劇作家。

1997年にダンスカンパニーNibrollを結成、代表兼振付家として活動を始め国内外のフェスに招聘される。2005年に劇作・演出を手がけ第56回岸田國土戯曲賞受賞。off-Nibroll名義で映像美術作家高橋啓祐と美術作品の制作も行い、上海ビエンナーレ、大原美術館、森美術館、仙台メディアテークなどの展覧会に参加。ダンスと演劇、美術の領域を行き交いながら作品制作を行う。15年文化庁文化交流大使として東南アジア諸国に派遣される。

2010年 シェイクスピア・コンペ優秀賞受賞

2012年 第56回岸田國土戯曲賞受賞

2012年 横浜市文化芸術奨励賞受賞 1995年4月 - 1997年3月

(2) 対象

戯曲に限らず物語を一から作ってみたいと思う中学校演劇部の生徒：募集人数：5名程度

(3) 日程等（※全日程参加）

1日目：2026年1月6日（火） 13時30分～16時30分

2日目：2026年1月12日（月・祝） 13時30分～16時30分

3日目：2026年1月18日（日） 13時30分～16時30分

4日目：2026年1月25日（日） 13時30分～16時30分

5日目：2026年2月1日（日） 13時30分～16時30分

場所：県立青少年センター内

(4) 講座内容

矢内原美邦先生と一緒に、「物語を考える」「戯曲にまとめる」「短い舞台作品を仕上げる」までを楽しく学ぶ5回連続講座です。

1日目は、「アイデア発掘ワークショップ～自分の好きなもの・気になることから物語のタネを見つけよう～」です。

みんなで絵を描いたり、写真を撮ったり、散歩しながら気になることを見つけることから始めます。気になったものの例は、

「忘れ物」主人公がバスの中に忘れ物をしてしまいます。次の日、その忘れ物が別の場所に移動していることに気づきます。実は、その忘れ物はただの物じゃなく、何か大切なものが隠されていたのかもしれませんが。この忘れ物を探すことで、どんな冒険が広がるのでしょうか？

「謎の手紙」ある日、主人公（あなた）が部屋で謎めいた手紙を見つけます。でも、送った人の名前も書いていない。手紙の内容が大事なことを伝えているみたいだけど、開けるべきかどうか迷っています。この手紙を開けたら、どんな冒険が始まるのでしょうか？

「閉じ込められた部屋」主人公が目を覚ますと、知らない部屋に閉じ込められています。部屋の中にはいくつかのヒントや謎があって、それを解くことで脱出できるかもしれません。部屋の秘密とは？どんな事件が待っているのでしょうか？

2日目は、「キャラクター&世界観づくり」です。

主人公や登場人物の「性格」「関係性」をワークシートで整理します。舞台になる場所をみんなイメージして写真や資料を集め、地図を描いてみます。

3日目は、「プロット（お話の骨組み）づくり」です。

起承転結ってなに？実際の映画やマンガから構成を学びます。「こんな場面があったら面白い！」というアイデアを付箋に1つずつ書き出し、自分だけのストーリーラインを付箋で貼り替え・順番入れ替えを繰り返しながら、自分だけの物語の流れ（プロット）を組み立てます。

4日目は、「セリフとキャッチボール、会話とは」です。

セリフの書き方、会話について学び、段取り図や簡単な台本を書いてみます。

5日目は、「ミニ作品完成&発表会」です。

各自が10～15分の短編戯曲を書き上げ、最後は皆でお互いの作品を楽しむミニ発表会です。

演劇部員の皆さんへ

この講習では、身近なアイデアを舞台作品に昇華させるスキルを習得できます。

仲間とアイデアを交換しながら楽しみつつ創作スキルを磨き「アイデアを形にし、舞台上で生きる物語を作る」その醍醐味を一緒に体験しましょう！

こんな人におススメです。

- ・演劇部の活動だけじゃ物足りない
- ・自分のアイデアをカタチにして台本に取り組みたい。

また、台本を読むとはどういうことなのかを考えたり、挑戦してみたりもしますので、演者希望の人も取り組みます。ぜひ参加してみてください！

近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻教授 矢内原美邦

*申込方法は、神奈川県ホームページ（県立青少年センター内）の次のアドレスに掲載していますので、是非、ご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/yi4/school/skillup25gikyoku.html>

【問合せ先】 県文化課紅葉ヶ丘駐在事務所兼県立青少年センターホール運営課 平澤
電話：045-263-4475 E-mail:seishonen.c.kikaku@pref.kanagawa.lg.jp